

UMBC 語学研修

2024年7月21日（日）～8月4日（日）

「UMBC 語学研修を終えて」

参加校（50音順）

青山学院横浜英和中学高等学校・英理女子学院高等学校
カリタス女子高等学校・北鎌倉女子学園高等学校
公文国際学園中等部高等部・サレジオ学院中学校高等学校
湘南白百合学園中学高等学校・逗子開成中学校・高等学校
聖光学院中学校高等学校・清泉女学院中学高等学校
捜真女学校中学部高等学部・立花学園高等学校
桐蔭学園高等学校・桐蔭学園中等教育学校
フェリス女学院中学校高等学校



神奈川県私立中学高等学校協会

私は今回の UMBC 語学研修を通して、多方面で成長を感じました。

まず語学面では、学校の勉強以外での英語というものが不慣れであったため、日常的に先生や大学生、研修に参加した友人と英語で話すことで、コミュニケーションツールとして英語を使うことに対する恐怖心が薄れ積極的に英語を使うようになり、その結果、語学力の向上を実感しました。

また、授業ではプレゼンテーションやディベートの仕方について学び、人を惹きつける力や瞬時に英語で対応する力が身につき、これらのスキルは現在の学業だけでなく、将来の大学進学や社会人としてのキャリアでも大切であると思いました。

さらに、自分の学校という決して広くないコミュニティから出て、さまざまな年齢、学校の生徒やアメリカの学生と関わることで、新しい視点や物事への向き合い方を知り、自分の現状を客観的に見つめ直し自分に何が必要かを考える機会を得ました。

このことから、私はこの語学研修を通して語学面の成長のみならず、自分を客観視するという点でも成長することができ、この UMBC 語学研修に参加でき良かったと強く感じています。

UMBC でのこの研修は本当に楽しかったです。現地の大学生を交えてスポーツをしたことや、友人と夜中まで遊んだこと、全てが大きくて綺麗だったワシントン D.C. やボルチモア、アナポリス観光など、この 2 週間は私にとって最高の思い出となりました。

ただこの研修中、集中英語講座が、正直意味があるのか分かりませんでした。私のクラスでの授業の内容は、過去形や R&L の発音、1 分間のスピーキング、ゲームなどでした。そして最後に必ずやると事前に言われていたプレゼンテーションは、期待していたものと違いました。他のクラスの人が授業の宿題などで忙しそうなのを見ている中、何もしない自分を見て普段にはない宿題をやりたいと思う気持ちがありました。

日本に帰国し、少しモヤモヤは残っていましたがすぐに研修の成果が出ました。私は英語を話すことに躊躇しなくなり、英語で友人と会話ができるようになり、自分の伝えたいことをできるだけ伝わるように話せるようになりました。英語力を上げるのではなく、英語を使う力が伸ばせたのだと思います。また今回の研修で未熟なところがはっきり見えたので、自分の将来に向けて勉強に励みたいのです。

UMBC で過ごした 2 週間で、僕は新たな自分を見つけることができました。学びや友情が驚くほどのスピードで深まる中、自分自身の成長を強く実感しました。毎日が新しい挑戦の連続であり、その全てが僕を成長させる瞬間だったのです。心が躍る経験を味わい、新たな学びに夢中になり、生涯の友人たちとの出会いは僕にとってかけがえのない宝物となりました。

5 時間半にもわたる英語のみの授業で、英作文やディスカッションを通じて英語力が向上したことはもちろんですが、それ以上に「スポーツは人と人とを繋ぐもの」「挑戦することが大切であり、その一歩踏み出す勇気が大事」だということを学びました。異なるバックグラウンドを持つ人々とスポーツや英語で交流したことや、メリーランド州議事堂でスピーチをした経験は、私の人生観を大きく変えました。

2 週間のプログラムを終えた今、心には色鮮やかな記憶が深く刻まれています。ここで得た学びや友情、経験は、僕の人生を豊かにし、これからも私を支えてくれるでしょう。この機会をくださった全ての関係者、生涯の友人たちに心から感謝しています。UMBC 最高！

私は、今回の海外研修でたくさんの貴重な経験を積み、そしてそれを通じて多くの学びを得ることができました。

まず、この研修で英語力、特にスピーキング力が向上したと感じています。UMBC では、すべての授業が英語で行われ、また、ワシントン D.C. やボルチモアへの Field Trip では、現地の方々と話す機会が多くありました。そのため、英語での会話のスキルを大きく向上させることができました。

授業の中で特に印象に残っているのは、プレゼンテーションの仕方についての授業です。この授業で学んだことは、今後の学校生活や社会に出ても必ず役に立つものだと感じています。

また、他の学校の生徒と交流ができたことも、とても貴重な経験となりました。さらに、UMBC の体育館でのスポーツや現地の学生との会話を目的とした Conversation Cafe を通して、多様な国籍の学生とも交流することができました。

今回の海外研修は、私にとって大きな成長のきっかけとなりました。普段と異なる環境に身を置き、色々な人と関わり、様々な経験を重ねたことで、英語力だけでなく、自分自身の視野を大きく広げることも繋がりました。この経験をこれからの学校生活にも活かしていきたいと考えています。

UMBC 研修での二週間は私にとって新しい事に満たされた有意義な時間でした。初めての留学という事もあり不安や緊張が大きく、うまくいかない事も沢山ありましたが、そんな経験を通したからこそその学び、達成感があつた様に感じています。

私が最も不安だった事は授業です。実際授業は AI という予想以上に難しい内容で始めはとにかく当惑し、必死にノートを取りつつ分からない事は友達に聞いたりメモを辿って調べたりしました。しかし確かに難しくても先生の説明は研究の面白さを実感させる様な興味深いもので、思わず声が出る程合点がいく授業に時間があつという間に感じる様になっていました。AI の導入に関する意見をディベートやプレゼン、エッセイで交換した際は根拠の客観性、具体性について詳しく学び、私はこの練習を経て今までただ事実の羅列で満足していた意見文を的確に論理的にしていく事が出来るようになりました。また授業後にジムに集まって研修メンバーだけでなく現地の大学生とバレーをした事も研修中での貴重な体験のうちの一つです。

この二週間の実りある体験をこれからの学びにも活かし、そしてこれからも新しいことに挑戦していくきっかけにしたいと思います。

今回の語学研修は、日本と異なる雰囲気の中英語に囲まれる生活をして、緊張しつつも楽しく充実した二週間だった。

授業において一番印象に残っているのは最終日のスピーチだ。英語を使ってスピーチするときは丸暗記せず、自分の言葉で話すということを教わった。実践練習をたくさん積んだ結果、日本語を英語にするのではなく、相手に伝えることを主に考えられるようになったと思う。また、自分の言葉で話すには習った文法表現を言い慣れていないといけないと気づき、今以上に音読暗唱練習を意識したいと感じた。

ランチタイムや D.C. への旅行で一緒に話した現地の学生とは音楽のことで話が合い、今もなお SNS 上で会話を弾ませている。教科書で習う単語や文法が、実際どのように使われているのかをたくさん知ることができ、机上の勉強からコミュニケーションツールとしての英語の大切さがわかった。また日本語を勉強している大学生と交流したとき、相手の日本語が文法的に正しくなくても理解できた。そのことで私も、英語を話すとき、間違いを恐れず積極的に話してみようと前向きになることができた。

より多くの研鑽を積んで、また留学に行きたいと強く思った経験だった。

私が二週間の留学生活の中で一番心に残っているのは、現地の学生と一緒にバレーボールをしたことです。

ある日の夜ご飯を食べ終わった夕方に広場で何人かの学生がバレーボールをしていました。私がルームメイト二人と三人で近づいて行くと、一緒にやる？と声をかけてくれて一緒にバレーボールをしました。いいプレーをしたら、nice!と言って褒めてくれたり、勝ったらチームメイトみんなでハイタッチもしました。短い時間でしたがすごくいい思い出になりました。

そして何より嬉しかったのは、遊んだあと、後日食堂や大学構内であったとき必ず手を振ってあいさつしてくれたことです。少し遊んだだけでしたが初めて現地で日本人以外に友だちができた感じがしてとても嬉しかったです。

最初に遊んでいるのを見かけたとき、うまく話しかけられずにいたのですが、相手の方から誘って来てとてもありがたかったです。

積極的にいろんな人と関わることで普段の生活をより面白くできるのだと実感しました。

これから日本にいるときでも自分から声をかけてたくさんの人と関わることでより豊かな生活ができるようにしたいです。

UMBC での二週間の語学研修を通して、いろんなことに気づくことが出来ました。

最初 UMBC に着いたとき未知の土地でしかも知り合いがいないということもあり、楽しみよりも不安が心の中を占めていました。また、私はスピーキングとリスニングが不得意なのでそれも相まって不安が強くなりました。しかし、UMBC での生活にも慣れていき、ルームメイトとも仲良くなって着いた頃の不安が消えた頃ようやく自分が海外にいる実感が湧きました。

そして、授業中の課題などで在學生にインタビューをする授業、在學生とご飯を食べることや実際に自分たちで観光することを通して会話の楽しさを感じる一方で、自分の英語力のなさを痛感しました。話す楽しさの中で、相手に伝えたい、言いたいことが思うように出てこないことにもどかしさを感じました。相手が私の言いたいことを分かろうとして耳を傾けてくれるときとても嬉しかったです。その一方でうまく話せない自分が嫌になりました。

UMBC にいる期間が長くなるにつれて私は英語が話せるようになりたいと強く思うようになりました。この変化を自分で感じられた時点で私はこのプログラムに参加できて良かったです。

私がこの語学研修で得たものは、素敵な友達です。私は人と喋るのがあまり得意ではなくて、出発前も「ただでさえ慣れない場所に行くのに喋れる人もいなかったらどうしよう！」と不安でした。ですが、部屋が一緒になった3人はとても優しくてすぐに仲良くなれました。今でも頻りに連絡を取り合っていますし、今度わたしの学校の文化祭にも来てくれる予定です。UMBCにいたときは毎日一緒にご飯を食べていました。授業が終わった後に遊んだり、部屋に戻って雑談したり、そういう時間がとても楽しかったです。

寮の外にある原っぱのような場所で現地の学生さんたちがボール遊びをしていたので、ルームメイトの子たちと「私達も一緒に遊びたい！」と声をかけようか迷っていたところ、向こうの方から「一緒に遊ぶ？」と声をかけてくれたことがありました。現地の人と交流できたことも嬉しかったですし、自分から行動してみることの大切さを学びました。遊んだ時に撮った写真は今でも思い出の一枚です。また、その時一緒に遊んだ学生さんは後日すれ違ったときに手を振ってくれたりもしました。ルームメイトの子たちと「私達のこと覚えてくれたんだ！嬉しい！」と舞い上がりました。

ルームメイトの子たちだけでなく、この語学研修に参加しなかったら関わる機会がなかったであろう他校の子や年齢の違う子とお話できたことがわたしはとても嬉しかったです。

私がこの研修を通して嬉しかったことは、観光班で様々な観光地に行ったことです。特に自然歴史博物館が印象的でした。そこにはダイヤモンドなどの宝石であったり生き物の模型であったりが多く展示されていました。ダイヤモンドを肉眼で見ることはそれまで一度もなかったのでかなり心が動かされました。一方、辛かったことは、ルームメイトとの人間関係です。私は部屋班の4人グループでこの2週間馴染めませんでした。そのため、彼女らと過ごすときはあまり主張ができず孤独でした。その中でも、いくつかの成長があります。

まず、今回の部屋班のトラブルから、問題解決能力が高くなったことです。それだけではなく、授業のジョセリン先生とマーク先生がどちらも優しく指導して下さったお陰で、スピーキングスキルが研修前に比べ向上した感覚があります。

この充実した2週間のアメリカ語学研修をきっかけに洋画や洋楽を積極的に日常に取り入れるようになりました。今までの私なら、それらを英語の勉強の一環として取り組んでいたのですが、この経験から得られるものは私にとって大いなるものでした。

初めにこの UMBC 語学留学に参加させていただいたことをとても光栄に思います。この研修に参加させてもらった両親、研修中私たちのサポートを真摯に行ってくださいました引率の先生方、研修の現地で私たちに様々な興味深い体験、授業を教えてくれた現地の先生方、そして研修中協力して、苦悩し、共に様々なことを楽しみ、乗り越えてきた私の大切な友人達に本当に感謝します。この研修は感謝だけではなく、私の価値観や人生の方向性に大きく刺激を与えてくれたものです。

この研修プログラム最大の魅力はアメリカの大学生活を自分の肌で体感できることです。一番の思い出は、研修で知り合った他校の友達や現地の大学生と、大学のジムで毎日のように様々なスポーツをして遊んだことです。今でもその大学生とは連絡を取り合っているほど仲良くなりました。

この研修の思い出を 500 文字ですべて説明することは不可能なほど沢山の経験をし、本当に神奈川県私立学校に通っていて本当に良かったと私は感じています。この研修に限らず海外の文化に興味がある、または「海外に行ってみよう」と感じた場合は一度海外の生活を体験してみることを私は強く勧めます。

UMBC での 2 週間は私にとってとても貴重な経験になりました。UMBC での授業を通じて英語力の向上に加え、異文化の理解の重要性を実感しました。昼食の時間に現地の学生たちと話す機会があり友人になったことで日常生活について直接学ぶことができました。

また授業後に外国の学生とジムでスポーツをすることで言語を超えたコミュニケーションの大切さを実感しました。共にスポーツをすることで、心が通じ合い、異なる文化の人々との絆が深まりました。

週末のワシントン DC やボルチモア、アナポリスを訪れ多くの場所に行くことができました。博物館や美術館、観光地に行きアメリカの歴史や文化を知ることができました。実際に現地に訪れることで深い学びを得ることができました。オリオールズの野球観戦ではアメリカのスポーツ文化を直接感じる貴重な経験になりました。スタジアムの熱気や観客の一体感は日本とは異なる独特の雰囲気の中で現地の人々の情熱を感じました。

この 2 週間を通じて異文化理解やコミュニケーションの重要性を改めて感じました。この経験を今後の学びや生活に活かしていきたいと思いました。

この2週間で、スピーキングの大切さについて深く考えさせられました。実際の会話となると知識を上手く活用することができず、中々会話が続かなくなってしまったためです。ただ、最後のUMBCの学生さんとの会話では最初よりは話も続いたのでその部分は成長したと言えると感じました。このことより話すことは慣れの部分も大きいと感じました。しかし、単語や文法の知識を増やすこともまた自分の考えをより明確に伝えるために大切なことだと感じました。

また、観光ではアメリカの文化や歴史への理解が深まったと感じています。今回訪れた場所はそれぞれの地域の特色が色濃く出ており、その違いを楽しむことができました。

オリオールズの試合の観戦では、野球をあまり知らない私のような人でも楽しめるような演出の工夫があると感じました。

最後に、この語学研修に行くことによって英語を学習するモチベーションに繋がるだけではなく実際の英語での会話を行う際、何が必要かを明確に理解できることが最大の利点であると思いました。

私はこの研修を通して多くの収穫があったと確信しています。

まず一つ、自分の中で大きく成長したことは、人の前に立って話す際の無駄な緊張や焦りを感じなくなったことです。私は今まで、スピーチや発表をしなければならないとき、プレッシャーや不安でうまく話すことができない場面が多くありました。しかし、今回の研修の英語の授業は人前での発表の機会が多く、「自信をもって話す」ことのトレーニングをすることができました。よって、最終日のまとめのスピーチでも、自信をもって人前に立つことができ、満足のいくスピーチをすることができました。

二つ目は異文化コミュニケーションを行うことが出来たことです。現地のアメリカ人の方々はもちろん、その他の様々な人種の方々と会話をしたり、コミュニケーションできたという経験は、私自身にとって、大きな財産になったとともに、一生の思い出になりました。

最後に、さまざまな夢を持つ仲間たちに出会えたことです。今回の研修では、レベルの高い同世代からたくさん良い刺激をもらいました。みんな目指す夢は違うけれど、学びに対する意欲や努力を怠らない姿勢を私も見習おうと思いました。なにより、たくさん楽しい時間と思い出をくれた仲間たちに心から感謝しています。

自分の英語力を高めるため、また海外の文化や生活に触れるため、いつか留学したい。そう考えていた時、先生からこの留学プログラムの紹介があった。2週間という長さも丁度良く、また自分が知らない生徒たちと生活するため、ありのままに過ごせて様々な経験ができそう。私はそう思い、参加することにした。

実際、留学を通して様々な経験をすることができた。例えば、授業でのインタビューや昼食の時間、フィールドトリップなど、現地の学生との会話をする機会が多くあり、コミュニケーションが苦手な私にとって良い練習になった。また、運動中に目を怪我し、アメリカの病院へ行くことになるなど、想定外で貴重な出来事も数多く経験することができた。

これらの経験を通して、私は英語力が向上しただけでなく、海外でもなんとか楽しんで暮らしていけるという自信もついたように感じる。もちろん、引率の先生方の多大なサポートがあってこそ成り立ったことではあるが、それでも元気に過ごせるか留学前に不安に感じていた私にとっては大きな自信になった。この経験を活かし、将来世界に貢献できるような人になれるよう、今後も勉強だけでなく様々な活動にチャレンジしていきたい。

私は姉妹都市交流の一環として、アメリカ合衆国メリーランド州のメリーランド州立大学ボルチモア校で行われた語学研修の一員として参加させていただきました。

この体験により、実に様々かつ貴重な経験を得ることができました。体験できたものは大きく分けて3つです。

まず1つ目は、アメリカの文化を肌で感じられたことです。アメリカの文化として一番印象的だったものとしては他人ともコミュニケーションをよく取り合うというもので、特に大学の構内では大学生の方々が挨拶を必ず返してくれたことは記憶に残っています。また大学内では、現役の大学生や新入生との交流が可能であり、様々な場面で大学生と関わる事が可能でした。

2つ目は、アメリカの大学を受験するために必要なスキルを学べた点です。デュオリングで好成績の生徒はハイクラスの授業が受けられ、ディベートやエッセイ、プレゼンテーション等の必須項目を日々取り組むことができました。また、授業後にアメリカの大学についての説明を受けることができました。

3つ目は、授業以外のアクティビティにより、アメリカのことをさらに理解できた点です。日程の中には観光も含まれていて、ワシントン D.C. やボルチモアのインナーハーバー、州都アナポリスの観光等ができました。中でもアナポリスでは、州務長官との面会が叶い、交流事業の大切さについてのお話をいただいたことや、州議会に招待され、最古の州議会としての歴史について教えていただきました。

このように、私は上記のように素晴らしい体験を受けられました。それにより、私は一つ重要なことに気が付きました。それは、英語を話せること自体が大切なのではなく、言語の壁を超え、更にアメリカなど世界中の国々と日本がお互いを理解し合うことこそが大切で、そのツールとしてあるものが英語であるということです。この気づきは、きっと私の未来の糧になると信じています。

私のクラスを担当してくださったクリス先生の授業はかなり集中して聞いていないと理解することができず、午前中の授業が終わるとどっと疲れたうえに課題のレベルが高く、なんとか次の日の授業に間に合うように仕上げていく日々で「しごいてもらった」2週間でした。初めはきつuitと感じていましたが、徐々に慣れて研修が終わるころにはクリス先生の授業をもっと受けていたいなあと思いました。授業以外でもスタッフの方や現地の学生との交流で沢山の生きた英語に触れることができ、もっと英語力を高めていきたいという気持ちが大きくなりました。そして一緒に過ごした神奈川私学の仲間達は、皆志が高く英語以外の面でもとても刺激になりました。これからもずっと大切にしていきたい仲間ができました。

沢山の貴重な経験をすることができましたが、特に修了式でスピーチをする機会をいただき、皆さんからスピーチに対する好意的な感想をたくさん頂戴したことは、一番の思い出となり自信となりました。ありがとうございました。

今回アメリカで二週間過ごしたことで私はいろんな事を学んだり、教えたり、多くの体験をすることができました。今回のプログラムで私は初めて親無しで海外に行きましたので飛行機に乗る前はとても緊張していて不安でした。しかし、飛行機に乗る前に部屋割りと一緒に先輩方と一緒に話しました。そのおかげで少しずつ不安が消えていきアメリカに着いた時には楽しみな気持ちで満ちていました。アメリカに着いた時もとても楽しかったです。

いろんなプログラムに参加している大学生達とご飯が同じだったことが多かったのでそこで話しかけられたりしました。スポーツを一緒にした大学生もいます。カフェテリアのスタッフとも会話ができて、そこではコミュニケーション力と他文化を学べました。授業も興味深かったです。午前と午後の授業は教えることが別で身につく力も違いました、午前では知識で午後ではコミュニケーション力が身につきました。先生達はとても優しくだったので最後のパーティでさよならを言うのが悲しかったです。校外学習もいい思い出です。メリーランドのことやワシントンのことがもっと知れてグループのことももっと知れました。可能であればまた参加したいです。

私が今回の UMBC 語学研修に参加しようと思った一番の理由は、アメリカのメリーランド州というワシントン D.C. に近く、またそれに加えて大学の寮で実際に寝泊まりして、授業も構内で受けられるので実際のアメリカの大学の感覚を体感できることがとても魅力的に感じたからです。アメリカに到着したとき、私は同じ学校の子以外の参加者と仲良くなれるかとても不安でした。同じ学校でしか仲良くなれないかも、と思っていましたが、暇な時間に参加者の皆とジムでスポーツを一緒にして、その中で知り合った現地の大学生とも一緒にスポーツをして会話を交わせるようになりました。また、SEA の学生とのランチタイム中での交流でも、一番初めに同じ席に座った女の子が食べていたおやつをきっかけにとっても仲良くなれました。

英語のネイティブの人と会話をする中で私は自然な英語の使い方をたくさん知ることができました。単語を一つ一つ区切って話すのではなく、繋げるところは繋げて話すなど、日常会話だけでもとても大きな気付きを与えられました。もちろん毎日のレベル別の授業で学んだことも沢山ありますが、それと共に様々な経験や体験をすることができるとても実り多い2週間でした。

私にとって初めての海外研修。正直行くまでは不安しかありませんでした。

初めての海外でたくさん不安がありましたが、いざ羽田空港からアメリカへ向かうとそんな不安は飛行機と共に飛んでしまいました。

UMBC に来てからの初めての授業、正直初日の授業は何を言われているか全くわかりませんでした。それでも毎日授業を受けていくうちに段々と喋れるようになり、英語を学ぶことの楽しさに気づきました。週末にはアメリカ観光をしました。初日はワシントン D.C.、2 日目はボルチモア港、3 日目に野球観戦、そして観光最終日にアナポリスに行きました。

アメリカに来てからの最初の自分と今の自分を比較してみると、初日は英語を聞き取ることすらできなかったのが、最終日には日常会話や簡易的なプレゼンなどができるようになりました。

英語に対しての苦手意識が以前より薄れ、学ぶことの楽しさを教えてくれた UMBC の先生方、私と仲良くしてくれたルームメイトやクラスメイト、引率で私たちをサポートして下さった私学協会の先生方、そしてアメリカ研修に参加させてくれた母には感謝しかありません。

私にとって今回のアメリカへの留学は、新たな発見と驚き、そして人生の糧になるような大変素晴らしい経験となりました。私がこのプログラムに参加したのは、将来英語を使い日本人と外国人を繋ぐ架け橋のような存在になるためです。そんな小さな夢を叶えるための一つの材料として、今回参加にあたりました。

UMBC で過ごした二週間は本当にあつという間に過ぎていきました。私は人見知りのため、向こうに行ったら現地の方と会話を紡ぐことができるか不安でした。ですが、実際降り立ってみれば会話はぎこちないものの、なんとか話し続けることができました。私の所属していたクラスは毎授業プレゼンを行っていました。普段の学校生活では滅多にやる機会がないため、上手くいかないことの連続でした。ですが回を重ねるごとに少しずつ慣れて行くのを実感することができました。またそれが自信につながり、現地の高校生や大学生とも楽しく会話をすることができました。

二週間は想像以上にあつという間に過ぎていきました。留学前に比べ、英語に対して拒絶感を抱かなくなりしました。今回の語学研修を糧に進路に活かしていきたいと思います。

私は今回始めて海外の語学研修に参加しました。行く前はどうかとても不安でしたが沢山印象に残ることがあった研修でした。

まずキャンパスがとても広くて驚きました。車を使って学生が移動するほど広く、最初は迷子になりかけることが沢山ありました。また、大学の先生に「車運転するの？」と何回か聞かれたのでそこにも文化の違いを感じました。寮での生活は、人と同じ部屋で生活するのが初めてだったり、日本と少しお風呂の構造が違うなどはじめは慣れないことが沢山ありましたが日が経つにつれて、食堂の料理を色々試したり、友達の部屋で遊んだり、ブックストアで買い物をしたり新鮮な経験をすることができました。

大学での授業では、今まで知らなかった表現や発音などを学ぶことができました。また、授業の中でやった街頭インタビューでは自分の英語を使って現地生に質問をするなど、日本ではできないような授業を受けることができ、今の自分のスピーキング能力やリスニング能力を知る良い経験になりました。

これらの経験を通して、自分の弱点や得意な点を見つけることができたのでさらに成長できるように英語を学び続けたいと思えました。

私は、今回の UMBC 語学研修を通して沢山の経験をし、沢山のことを学びました。ワシントン D.C. ・ボルチモア・アナポリス観光では、普段見ることのできないものを沢山見ることができました。アメリカ最大規模であるスミソニアン博物館に行ったり、私の好きなモネの作品が置いてあるナショナルギャラリーオブアート美術館に行くなど、日本ではできない貴重な経験をする事ができてとても充実した観光でした。野球観戦は、野球のルールがわからない私も熱中することができました。国を超えて繋がることのできるスポーツの素晴らしさを改めて感じました。そして、観光の時間、昼食の時間に外国の方と話す機会を設けていただいたおかげで、英語の会話力が前よりも向上したように思います。日本人同士ではなく実際に外国の方と話すことができてとても良い機会になりました。

そして、私が今回の語学研修で学んだのは英語だけではなくありません。私は人前で発表することが苦手で、緊張で声が小さくなったり、相手の目を見て話せなくなったりしてしまいます。でも、今回の語学研修の授業内で沢山プレゼンテーションをしたことにより、少し自信がついた気がします。今回の語学研修は、私を成長させるきっかけになってくれたと思います。この経験を活かして、今後も頑張っていきたいです。

法律を学ぶ兄を持つ私は、憲法が掲げる国際協調及び平和主義から抱いた多様性、平和、国際とは何かという諸種の疑問に向き合うことを目的とした。一般に、日本人やアメリカ人が混ざり合うことは多様性の模範とされている。だが人種や国籍に関わらず特技や好悪は各人各様であるため、個人が存在する時点で多様性は在るのだと、友人と生活する中で気付かされた。多様を維持する一方で研修は相違点の多寡に関わらず、包含し、浸透し、共鳴しあっていた。この事実は、我々が多様の中に唯一共有する言語という存在に起因する。天蓋飛輪の友を得たのは、留学希望を言葉にした私の言葉による会話があったからである。無論、言語以外にも行動力や精神性が必要だが、言語は常に私を司り、全く異なる相手に届く。

研修の参加は、世界で無意識の多様の中に浸透するために、英語を新たな共通部分へ変えるための一歩である。今日、言語の源流が同じであるにも関わらず勃発する戦争、差別は数多く存在する。争いの始めも終わりも言語である。

今回の研修は英語を学んだばかりではない。言語そのものに存在意義を明白にしたことに平和を見る日本の高校生としての存在意義を見出したのである。

私は、今回このUMBC語学研修に参加して色々なことを思い、体験をし、経験をして、いくつか学んだこともあった。

まず1つ目は、初日から学校・学年も違う様々な人に出会い、最初はもちろん知らない人ばかりで戸惑った。けれども、段々と日にちが経っていくにつれ、いろんな人と話し、仲を深めることができた。

2つ目は、私はこの研修に行く前からあまり英語は得意な方ではなかったのですが、大丈夫かととても心配だったが、いざ来てみると授業では先生方が優しく丁寧に教えてくださりその心配もいらなかった。また、授業では、私が普段学校ではやらないような英語で英語を勉強するというをやった。時々、私がい解らない単語や文が出てきたこともあったが、先生や先輩方が教えてくださり、楽しく授業に取り組むことができた。

3つ目は、私は文化の違いを経験した。2週間毎日、朝・昼・晩とTrue Gritでご飯を食べて、日本にはないような食文化、食生活、味などがあつた。また、お手洗いにいったときなども、日本にはウォシュレット機能がついているけれどもついていなかったり、アメリカのお手洗いのドアの下部分は広く空いていたり、その他でも文化の違いを経験した。

4つ目は、今回初めて私は寮生活を体験した。普段から、家族にやってもらっている洗濯などをやってみて色々とい解らないこともあつたが、その時は家族にもらつたアドバイスをもとにすることができた。

このように、このUMBC語学研修を通して様々なことを体験、経験をして、学ぶことができた。そして、最後に引率者の先生方、TESOL研修の先生方、二週間ありがとうございました。先生方のサポートのおかげで二週間楽しめたと思います。本当にありがとうございました。またの機会があればこの研修にまた参加したいです。

英語を勉強する意義とは何か。これは、以前から私が持ち続けていた悩みだつた。人工知能の開発が急速に進み、誰でも簡単に翻訳ツールが使えるようになった現代において、人類が英語を学ぶことに意味はあるのだろうか、と。

しかし、二週間のアメリカ留学を経て、私は自分なりに答えを見つけることができた。相手の言語を学ぶことは、その文化を学ぶことであり、相手を理解し尊重しようという気持ちの表れである。相手を同じ言語を使ってコミュニケーションが取れた時、限らない喜びを感じることができる。

研修中のある日、日本人留学生とUMBCで日本語を学んでいる大学生の数名ずつでテーブルを囲み、日本語で会話をしながら昼食を共にする機会があつた。人生で初めて日本語を教える立場になり、こちらの言語を学んでくれること、それを使って必死に思いを伝えようとしてくれることはこれほど嬉しいことなのかと感動した。そして、お互いの気持ちが通じ合つた時は自然と笑顔になつた。

この研修を通して得ることができた喜びを胸に、私はこれからも英語学習を続けていこうと思う。そして、これから生まれてくる新しい世代の子供たちにも、この喜びを伝えていきたい。

この研修で、僕は英語力とコミュニケーション力を鍛えただけでなく、海外留学への興味を深めることができた貴重な経験となりました。特に、毎日5時間半もあった英語の授業では、先生の面白いアメリカンジョークや日本ではあまり行われないうグループディスカッションを通して、アメリカ式の教育を体感し、対話の楽しさを学ぶとともに、学びを自身の成長にどう繋げるかを意識することができるようになりました。

また、授業後は現地の大学生と体育館でバスケットボールやバレーボールを楽しみ、パリオリンピックの観戦もするなどホームステイとは違った大学の寮生活ならではの経験を味わうことができ、国籍の壁を越えた交流を深める力を身につけることができました。

さらに、サマーキャンプに参加していた高校生のアニーとも親しくなり、最終日にはショッピングモールに行き、帰国後の今でもビデオ通話で交流を続けています。このUMBC語学研修は、忘れられない学びと友情を得ることができ、かけがえのない経験となりました。このような貴重な機会に参加できたことにとっても感謝しております。ありがとうございました。

留学が決まったとき、私は楽しみでしたが、同時に英語力への大きな不安を抱えていました。過去に参加した語学研修や、アルバイトで外国人観光客に対応した際に、英語がうまく話せなかった経験から、英語を話すことへの苦手意識が強くなっていました。自分の言いたいことを正確に伝えられないことがとても怖かったです。

しかし、世界中のさまざまな人と話せるようになりたいという夢を持つ私は、英語への苦手意識を克服するためにオールイングリッシュの環境に身を置くことにしました。初めはうまく伝わらないことが多くもどかしさを感じましたが、授業では先生方のもとに「自分から学びに行く」姿勢を大切に、積極的にそのアドバイスを取り入れました。先生からの優しい言葉や励ましに支えられ、少しずつ自信を持てるようになりました。

この留学を通じて、英語を話すことへの苦手意識が薄れ、今では積極的に英語でコミュニケーションを取ろうと考えるようになりました。帰国後も、英語に対する意欲がさらに強まり、自分の成長を感じています。

私は、この留学を通して多くのことを学ぶことができました。その中でも印象に残っている二つの事について書きたいと思います。

私の学んだことの一つ目は「人は本気で頑張れば2週間という短い期間でもしっかりと成長出来る」という事です。私は行きの飛行機でCAさんの言っていることがさっぱり分かりませんでした。しかし、語学研修や現地の学生さんとの会話に全力で取り組んだおかげで帰りの飛行機でCAさんの言っていることを完全に理解することができました。この成功体験はこれからも英語を学んでいく上で私の自信の支えになってくれる素晴らしい経験だと思います。

二つ目は「自分の学んだ知識を全て活用するというのは凄まじく楽しい」ということです。

自分が英語を使わないと意見を交換できない人に普段学校で学んでいる英語を使って、どのようにしたら自分の言いたいことを伝えられるかを必死に考えるということは、日本では滅多に経験出来ないことだと思います。

私はこの二つ以外にも多くのことをこの留学から学びました。この留学で得たものを今後の人生にしっかり活かしていきたいと思います。